

# トランコム 北関東で菓子物流拡大 埼玉加須に新センター

トランコム(本社・名古屋市中区、清水正久社長)は北関東での営業を加速する。埼玉県加須市に「北関東ロジスティクスセンター(仮称)」を来年十月に新設する。菓子類の共同配送など菓子メーカー物流を拡充。埼玉県下の既存の三つのセンターと合わせ、関東圏での基盤づくりを強化する。

(谷 篤)



清水 正久社長

トランコムは平成十七年の加須LC(加須市)の設置を皮切りに、騎西LC、同第二センター(同)をそれぞれ二十年、二十二年に稼働。加須LCで菓子関連二十三社の業拡大に踏み込む。

物流を手掛けるなど、着々と荷主を拡大しているが、スペース不足によって新規獲得が困難になってきた。

新センターの完成に伴い、埼玉県下の各センターをカテゴリー別の専用拠点とする。騎西は日用雑貨、加須は加工食品、

新センターは、国道二二号バイパスに面した加須市芋蓑の騎西城南産業団地に構える。

北関東で年間  
新規18億目標

計画では延べ床面積約二万四千二百平方メートル、内訳はドライ商品倉庫(二万八千平方メートル)、保冷倉庫(千六百平方メートル)、通過型センタースペース(三千三百平方メートル)となっている。

新センターではトランコム共配便による関東圏への配送をはじめ、共配ネットを活用した全国向けドライ・保冷品発送も担う。物流の効率化を企画提案し、中堅メーカーなどへの営業を強化。年間五億円の新規受注を見込む。

年間売上高計画は二十八億円。騎西LC十一億円、加須LC十一億円と合わせて年間五十億円の売り上げが目標だ。新規見込みは合計十八億円。